

# 尾道造船株式会社尾道造船所総合事務所

ONOMICHI DOCKYARD GENERAL OFFICE

No. 12-056-2019作成

新築  
事務所

発注者	尾道造船株式会社	カテゴリー	A. 環境配慮デザイン	B. 省エネ・省CO <sub>2</sub> 技術	C. 各種制度活用	D. 評価技術/FB
設計・監理	大成建設株式会社一級建築士事務所	E. リニューアル	F. 長寿命化	G. 建物基本性能確保	H. 生産・施工との連携	
施工	大成建設株式会社	I. 周辺・地域への配慮	J. 生物多様性	K. その他		

## 人と人、人と環境をつなぐクリエイティブオフィス

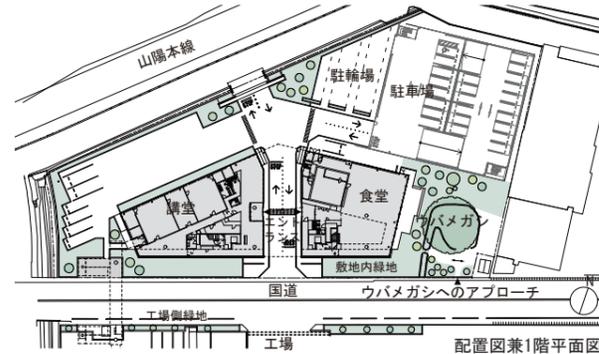


安定した採光が得られる北側オフィス

### 豊かな周辺環境とつながる明るく開放的なワークスペース

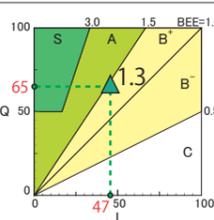
海と坂と造船の街である尾道を代表する造船所のオフィス建替計画である。既存オフィスの老朽化を期に、よりクリエイティブなワークスタイルへの転身が求められた。

計画では、海と山、樹齢500年とも言われるウバメガシなど他にはない周辺環境を積極的に取込む明るく開放的なワークスペースをめざした。コアに設けた耐震ブレースと耐震間柱によって耐震性を確保し、高性能ガラスに覆われた建物外周に細径鋼管柱(φ250)を配することで内と外をつなぐ透明度の高いファサードを構築した。さらに、海と山を望む回廊型プランや、自然光が溢れるセンターボイドの階段が、活動量の向上につながる歩きを促す。また、快適性を提供するため、安定した光環境が得られる北側オフィス、センターボイドを利用した自然換気、天井レスによる空間ボリュームの拡大と快適な音環境を両立するストライプ天井吸音板、センシングによる照明と換気の自動制御を採用している。



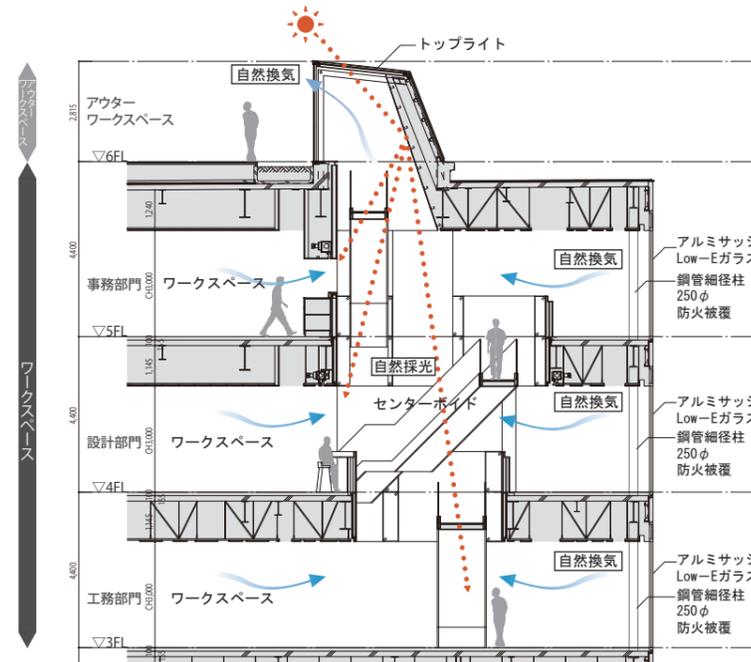
海と山、周辺環境を積極的に取り込むワークスペース

建物データ	省エネルギー性能	CASBEE評価
所在地	BPI (モデル建物法) 0.96	B+ランク
竣工年	BEI (モデル建物法) 0.84	BEE=1.3
敷地面積		2016年度版
延床面積		自己評価
構造		
階数		



### 自然エネルギー利用とコミュニケーションを促すセンターボイド

ワークスペースである3、4、5階に、ものづくりを一気通貫で行う、工務部門、設計部門、事務部門を各々配置し、6階にアウターワークスペースとなる屋上庭園を設けた。センターボイドによる自然換気、自然採光によりワークスペースの快適性の向上を図った。また、階ごとに床の形を変えることで他階の様子が感じ取れ、積層されたワークスペース間のコミュニケーションを誘発し、クリエイティブな発想が生まれる環境を提供している。



自然採光、自然換気を促すセンターボイド

### 快適性、安全性、設備更新性を向上させるストライプ天井

ワークスペースの天井は吸音板をストライプ状に配し、スリット状に隙間を設けた配置としている。設備レイアウトは、スリット幅600mmの位置に天井カセット型PACを設置し、デザイン性と性能の両立を図った。気流障害、空気環境に配慮し、モックアップによる実証実験を行い、各種部材との離隔距離や吹出し口の開閉制御を決定した。直付型LED照明や照明配線ダクト、各種センサー類をスリット部に配置し、メンテナンス性を高めている。スリット状とすることで吸音板と天井懐の音拡散効果により静寂性を高め、快適性を向上させた。火災時の煙溜り空間を確保し、「避難時間の拡大化」、地震時における「天井材の落下・破損の防止効果」を高め、安全性を向上させた。

### 地域の人々とのつながりを高める緑化計画

地域の人々とのコミュニケーションを促進する空間性と地域に開かれた施設の運用が重要と考え、道路境界の既存塀を取り払い開放的な雰囲気をつくるとともに、敷地内に現存する天然記念物のウバメガシに国道から直接アプローチできる計画とした。また、国道反対側の工場敷地にも緑化をし周辺環境と調和した計画とした。

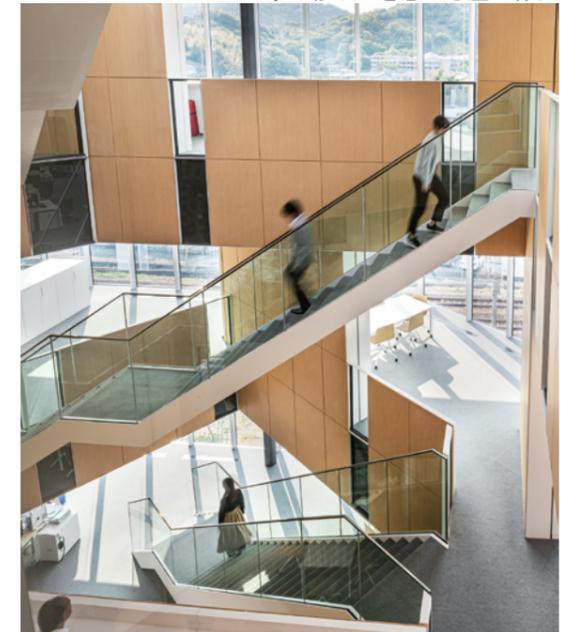
設計担当者 建築：杉江大典、関政晴、三浦有美子、輪湖大元／構造：渡辺征晃、渡邊祐一、大森慎司、天羽祥太  
設備：梶山隆史、藤田協二、中村真弥／電気：有馬京吾

### 主要な採用技術 (CASBEE準拠)

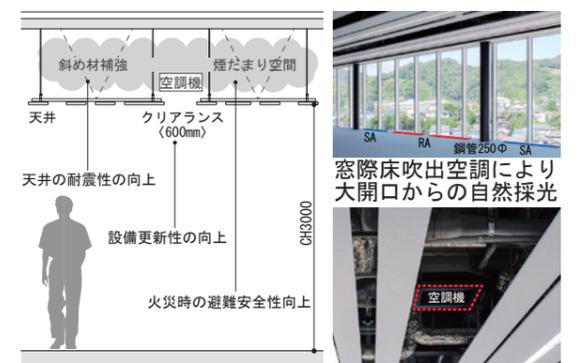
- Q2. 2 対応性・更新性 (ストライプ天井による設備の更新性、維持管理性能向上)
- Q3. 1 生物環境の保全と創出 (外構緑化、屋上緑化、既存天然記念樹の保存)
- Q3. 3 地域性・アメニティへの配慮 (敷地内空間提供、地域開放、敷地内周辺緑化)
- LR1. 1 建物外皮の熱負荷抑制 (Low-Eガラス)
- LR1. 2 自然エネルギー利用 (自然換気、自然採光、北側オフィス)
- LR1. 3 設備システムの高効率化 (LED照明、センサー制御)



オフィスに自然光を運ぶトップライトと四季の移ろいを感じる屋上緑化



センターボイドから他階の様子が感じ取れる



ストライプ天井断面 設備更新が容易なスリット天井



既存樹を生かした植栽計画 食堂の地域開放